

(2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野(3) 学校教育

施策の方針③ 学校施設の整備

<目標とすべきまちの姿>

平成22(2010)年度をもって既に完了している学校施設(校舎・体育館)の構造体の耐震補強に加えて、非構造部材の落下防止等耐震対策が講じられているため、児童生徒が安全かつ安心して学習できる環境が整備されています。

また、トイレ等衛生設備の整備など、健全な学習環境の構築に資する取組が進められています。一部の学校においては、エコスクールの推進に向けて、太陽光発電設備又はLED等次世代型照明器具が導入されています。

1 事業評価結果一覧表

教育部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
教育-18	小学校施設整備事業	120,771	122,258	0.2	b	B
教育-19	小学校防災対策事業	22,450	23,193	0.1	b	B
教育-20	中学校施設整備事業	163,355	172,275	1.2	b	B
教育-21	中学校防災対策事業	12,253	12,996	0.1	b	B

2 平成26年度末の目標

教育部

既に完了している学校施設(校舎・体育館)の構造体の耐震補強に加え、非構造部材の落下防止等耐震対策を講じ、児童・生徒が安全かつ安心して学習できる環境を整える。
トイレ等衛生設備や空調設備設置について検討する。

3 平成26年度の取組の評価

教育部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

健康で安全な学習環境を構築するため、非構造部材の耐震対策、衛生設備の整備を図った。
業者選定に時間を要し、一部の計画が遅れた点もあったが、概ね順調に予算執行ができ、適切な処理が行われた。

4 今後の方向性

教育部

複数年にかかる継続的事業(中学校改築、冷房設備設置等)も多いことから、進ちよく状況を検証しながら効率的な予算執行に努めていく。

5 平成27年度末の目標

教育部

引き続き、小学校及び中学校施設の耐震対策を行う。
大船中学校の改築を進めるとともに、中学校普通教室及び特別教室への冷房設備設置に向けた具体的作業を進める。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・校舎の増改築、トイレ改修等様々な環境改善に取り組んでいる。
- ・体育館、校舎等の耐震工事を行っている。
- ・耐震対策、防災対策、衛生設備の整備等、ハード面での整備がすすめられている。

2 課題・提言

- ・横浜、横須賀市の全小学校、藤沢市の一部小学校に設置されている普通教室への冷房設備完備の、鎌倉市実施へ向けて早めの対応を望む。
- ・国の通知によって実施するのではなく、鎌倉の子どもたち、学校の安全、安心対策として考えてほしい。